

M E B C 前橋東高校 放送部 (Maebashi East Broadcasting Club)

部員の紹介

3年生：3名 2年生：3名 1年生：6名 (令和3年度)

活動時間

週6日（月曜～土曜） 【平日】放課後～17:30
【休日】 9:00～12:00 or 9:00～15:00

主な実績

N H K 杯全国高校放送コンテストや全国高等学校総合文化祭（放送部門）に、県代表として出場しています。

■第68回N H K 杯全国高校放送コンテスト 群馬県大会

創作ラジオドラマ部門 最優秀賞（全国大会出場）
ラジオドキュメント部門 最優秀賞（全国大会出場）
テレビドキュメント部門 優秀賞（全国大会出場）

■第45回全国高等学校総合文化祭 第17回群馬県高校放送コンクール

ビデオメッセージ部門（V M） 優秀賞（全国大会出場）⇒紀の国わかやま総文2021へ出場
オーディオピクチャー部門（A P） 優良賞（関東大会出場）

放送部ってどんなことするの？

「放送部」というと校内放送や校内行事、体育祭のアナウンスのイメージが強いと思いますが、実は大会があります。1つは「放送部の甲子園」と呼ばれる『N H K 杯全国高校放送コンテスト（Nコソ）』。もう1つは『全国高等学校総合文化祭（総文）』で、それぞれ個人部門と団体部門があります。

Nコソには、テレビやラジオ、それぞれドラマとドキュメントなど6部門があります。

個人部門は2つ。身の回りや地域のことを自分で取材し、原稿を作り発表するアナウンス部門。指定作品（本）の中から1作品を選び、自分で表現したい部分を選んで読む朗読部門です。

団体部門は映像や音声作品があり、ドラマ部門は台本、撮影・録音、編集、番組進行表に至るまですべて自分たちで1から作り、ドキュメント部門も取材、構成、何から何まで自分たちで作り上げます。いわば作品は、放送部員たちの努力の結晶であり、芸術作品と言えます。

たった8分間です！（個人部門は2分間！）ですが、その8分間に放送部員たちはすべてを費やします。どの部門もそれに魅力があり、全国の高校生（放送部員）たちが全国大会という夢の舞台に立つため競い合います。

中学生のみなさんへ

放送部は、お屋の校内放送（H I R U W A K U）、アナウンス・朗読・映像＆音声作品の制作など、授業では学べない色々なことに挑戦できます！自分の可能性を見つける良いチャンスになると思います。マイクやカメラ、ボイスレコーダーなどの機材や収録環境もあります。こうした機材を使えるのは放送部だけの特権です！番組制作や音声編集などを経て、編集スキルが身に付き、映像編集もできるようになります。

私たち放送部員は全員、高校からはじめた人ばかりです。ぜひ、私たちと一緒に新しいことに挑戦してみませんか。

Twitter & Instagram やってます！ 前橋東高校放送部(#MEBC) @mebc_maehigashi